

平成29年度 第1回公立大学法人公立鳥取環境大学教育研究審議会 議事要旨

- 日 時 平成29年6月28日(水) 13:30~14:30
- 場 所 大会議室(本部講義棟3階)
- 出席者 高橋一委員、今井正和委員、遠藤由美子委員、小林朋道委員、富岡庄一委員、岡崎誠委員、吉永郁生委員、齊藤明紀委員、北崎寛委員、片木威委員、尾室高志委員、田中仁成委員、中島廣光委員、山本仁志委員
[14名/15名]
- 欠席者 角紀代恵委員

【議事】

1 前回議事要旨の確認

原案のとおり承認された。

2 審議事項

(1) 平成28年度業務実績について

学長から、平成28年度業務実績の概要について説明があり、原案のとおり承認された。

<主な意見>

- ・ どのようなIRを導入して、どのような使い方をしたいのか。導入できないのであればどういった理由であるか。
 - これから進めないといけないと思っており検討している。本学の規模が小さくて、人材も少ないため、本学に合ったIRがどういったものかというところから検討おり、なかなか進んでいない状況である。なお、IR室の設置を最初は考えていたが、本学の規模では出来ないのではないかと考えている。
- ・ 数値が同じであるが、「29年度入試」という記述と「28年度入試」の記述がある。
 - (資料12ページ本文中の)「28年度入試」の記述は間違いであり、正しくは「29年度入試」。
- ・ 首都圏及び中京圏の受験生への情報発信とあるが、目標の数値等あつてのことか。
 - 「まだまだ中京圏及び首都圏から集められるのではないかと」と、評価委員会から指摘を受けたことにより、対応状況を記載している。
- ・ 鳥取県内出身学生生活支援を新たに創設したが、実際どのくらいの申請があつたか。
 - 申請は実績に基づき半年ごとに行うため、最初の申請は9月になるが、県内出身者47名が対象になる。志願者確保については、創設が12月からであり、一般入試からの案内となり効果が実感できなかつたが、来年はいい知らせが出来るのではないかと考えている。

(2) 公立鳥取環境大学及び両学部の3ポリシーについて

学長から、公立鳥取環境大学及び両学部の3ポリシーについて説明があり、原案のとおり承認された。

<主な意見>

- ・ 環境学部のカリキュラムポリシーに教職課程についての記載があるが、大多数の学生に向けたものと捉えると、教員免許を取ってほしいという意向があるのか。
 - 教員免許を取りなさい、取ることが望ましいということではないが、教員免許が取れるというのは特別な意味を持っていると考えている。

(3) 平成30年度入試概要について

学長から、平成30年度の入試の概要及び日程等について説明があり、原案のとおり承認された。

3 報告事項

(1) 平成28年度決算について

大田事務局長から、平成28年度財務諸表及び決算報告書等について報告があった。

(2) 平成29年度補正予算について

大田事務局長から、実験研究棟実験室整備工事などに係る平成29年度補正予算案件について報告があった。

(3) 翌年度以降の債務負担行為の案件について

学長から、翌年度以降の債務負担行為の案件について説明があった。

(4) 「鳥取県4大学間の単位互換に関する包括協定書」締結式の実施について

学長から、「鳥取県4大学間の単位互換に関する包括協定書」締結式について報告があった。

(5) 近況報告

学長から、在籍者数、就職活動状況など大学の近況について報告があった。

4 協議事項

(1) 学長候補者の資格を有すると認められる者の推薦について

理事長及び事務局山本企画監から、学長候補者の資格を有すると認められる者の推薦についての説明があり、次回の経営審議会で学長候補者の資格を有すると認められる者を推薦することとなった。

5 その他

次回審議会は8月2日（水）を予定。

6 閉会